



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東
コード番号 6013 URL <https://www.takuma.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南條 博昭
問合せ先責任者(役職名) 経営企画本部 (氏名) 小林 寛幸 (TEL) 06-6483-2602
広報・IR部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	65,916	0.1	2,724	△51.9	3,233	△47.4	1,927	△55.1
2023年3月期第2四半期	65,834	11.1	5,665	92.8	6,146	90.8	4,296	90.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,534百万円(△2.7%) 2023年3月期第2四半期 4,658百万円(91.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 24.10	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	円 銭 53.63	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 178,662	百万円 103,807	% 57.8
2023年3月期	百万円 179,688	百万円 101,167	% 56.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 103,259百万円 2023年3月期 100,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 43.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 24.00			
2024年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,000	2.3	10,300	△25.4	11,000	△25.1	7,700	△20.0	96.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の13ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	83,000,000株	2023年3月期	83,000,000株
2024年3月期2Q	2,978,451株	2023年3月期	3,047,184株
2024年3月期2Q	79,981,071株	2023年3月期2Q	80,118,561株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	13
(セグメント情報)	14
3. 予想補足資料	15
(1) セグメント別連結業績予想	15
(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想	15
4. 補足資料	16
環境・エネルギー(国内)事業の内訳	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間				前年同期比増減額		
	受注高	売上高	営業損益	受注残高	受注高	売上高	営業損益
環境・エネルギー(国内)事業	57,183	52,194	3,096	452,635	12,006	△2,183	△3,380
環境・エネルギー(海外)事業	1,793	1,003	32	6,818	699	391	104
民生熱エネルギー事業	10,449	8,441	404	7,948	432	974	258
設備・システム事業	3,452	4,471	414	10,625	△5,609	898	115
計	72,878	66,110	3,946	478,028	7,528	80	△2,900
調整額	△164	△194	△1,222	△18	32	0	△40
合計	72,714	65,916	2,724	478,009	7,561	81	△2,941

当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、受注高は主に環境・エネルギー(国内)事業の増加により前年同期に比べ7,561百万円増加の72,714百万円、売上高は環境・エネルギー(国内)事業が減少した一方で環境・エネルギー(国内)事業以外のセグメントが増加したことにより、前年同期並みの65,916百万円となりました。

損益面においては、環境・エネルギー(国内)事業の減益により、前年同期に比べ営業利益は2,941百万円減少の2,724百万円、経常利益は2,913百万円減少の3,233百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,369百万円減少の1,927百万円となりました。

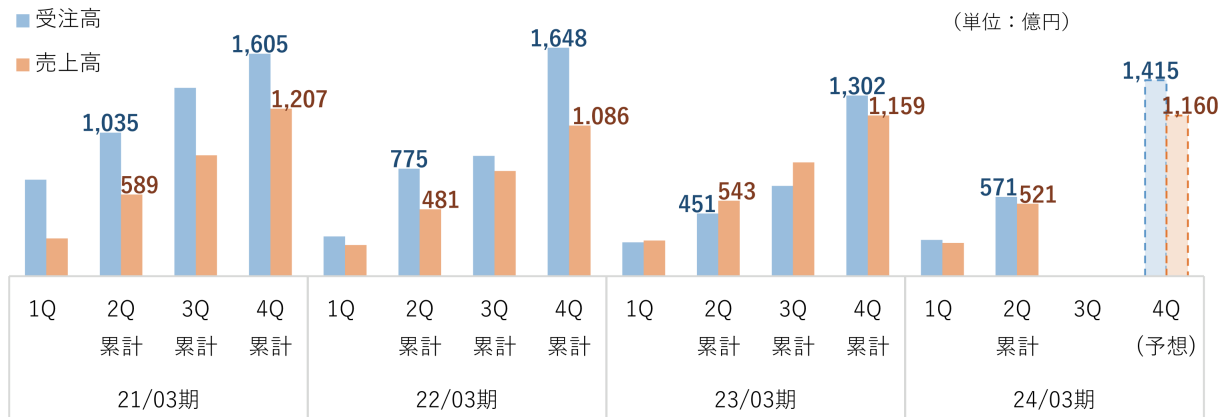
セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[環境・エネルギー(国内)事業]

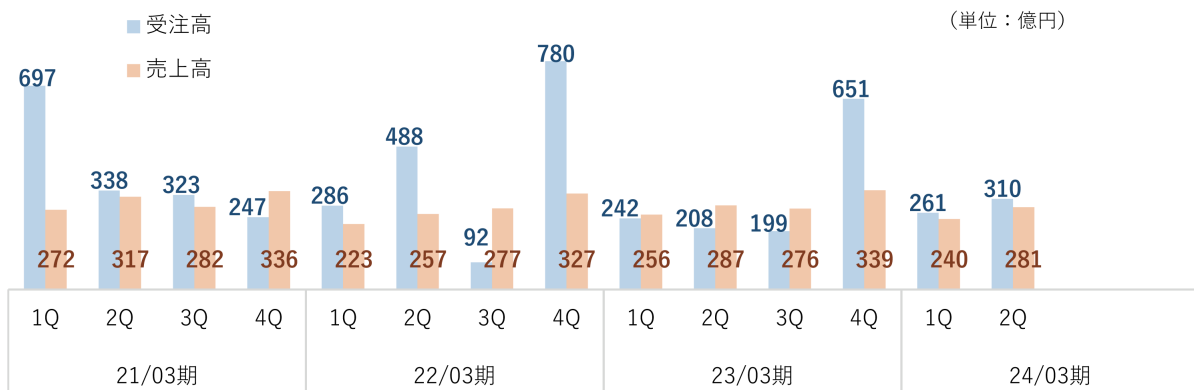
当第2四半期連結累計期間においては、バイオマス発電プラントの新設案件4件、自家消費用途バイオマスプラントの新設案件1件を受注したほか、下水処理場向け砂ろ過設備の大型更新工事などを受注し、受注高は前年同期※に比べ12,006百万円増加の57,183百万円となりました。一方で、売上高は主にEPC事業における案件構成の変化により前年同期に比べ2,183百万円減少の52,194百万円となりました。損益面では案件構成の変化や、播磨新工場の稼働に伴う償却負担の増加、人件費・研究開発費など営業費用の増加に加え、受託しているごみ処理プラント(ガス化溶融炉)のO&Mにおいて設備の不具合が発生し、復旧に向けた対策費用を計上したことから、営業利益は3,380百万円減少の3,096百万円となりました。なお、対策費用の計上による当第2四半期連結累計期間の損益への影響額は約10億円であります。

※ 前年同期の主な受注：ごみ処理プラントの基幹改良工事1件、バイオマス発電プラントの新設5件など

《受注・売上推移(四半期累計)》



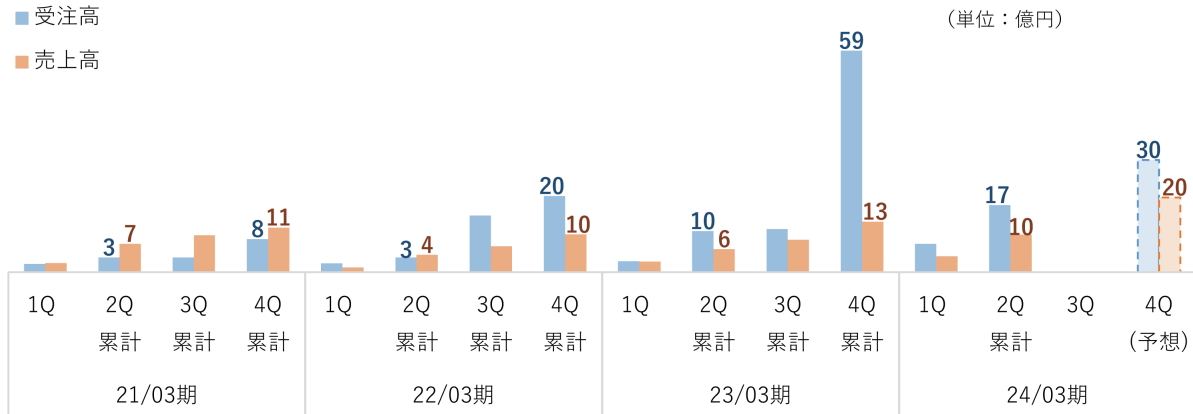
《受注・売上推移(四半期毎)》



[環境・エネルギー(海外)事業]

当第2四半期連結累計期間においては、主に前期受注したベトナムの廃棄物処理プラント案件において追加受注を計上したことにより、受注高は前年同期に比べ699百万円増加の1,793百万円となりました。また、メンテナンス売上の増加や受注済みプラントの進捗等により、売上高は前年同期に比べ391百万円増加の1,003百万円、営業損益は前年同期の営業損失72百万円から32百万円の営業利益となりました。

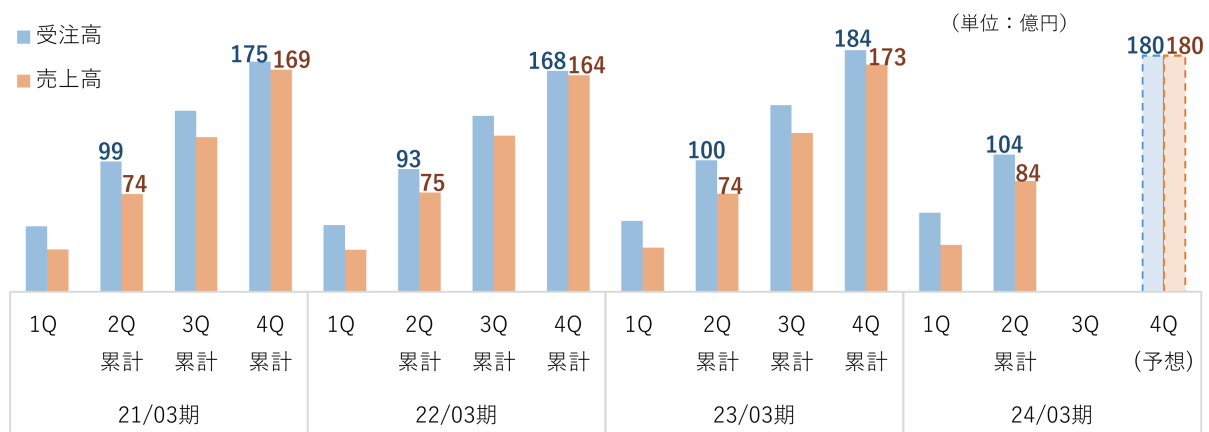
《受注・売上推移(四半期累計)》



[民生熱エネルギー事業]

当第2四半期連結累計期間においては、大型案件の受注などもあり、前年同期に比べ受注高は432百万円増加の10,449百万円となりました。また、受注済み案件の進捗や大型案件の完工などにより、売上高は974百万円増加の8,441百万円、営業利益は258百万円増加の404百万円となりました。

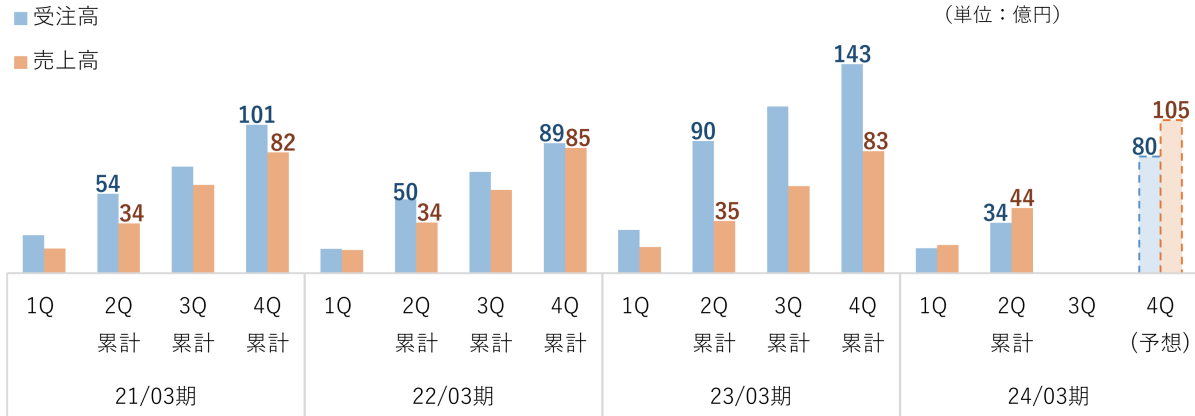
《受注・売上推移(四半期累計)》



〔設備・システム事業〕

当第2四半期連結累計期間においては、前年同期に建築設備事業において大型案件の受注があった反動や半導体産業用設備の減少により、受注高は前年同期に比べ5,609百万円減少の3,452百万円となりました。一方で、受注済み案件の進捗により売上高は898百万円増加の4,471百万円、営業利益は115百万円増加の414百万円となりました。

《受注・売上推移（四半期累計）》



なお、環境・エネルギー(国内)事業においては、第3四半期以降にごみ処理プラントの建設工事や運営事業のほか、エネルギープラントや水処理プラント等の受注を見込んでおり、通期の受注高は170,000百万円と従前の予想から変更ありませんが、損益面では、環境・エネルギー(国内)事業における追加費用の計上等を踏まえ2024年3月期の業績予想を修正しております。詳細は「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は178,662百万円と前連結会計年度末に比べ1,026百万円の減少となりました。これは主に、棚卸資産が4,278百万円、投資有価証券が3,850百万円の増加となったものの、受取手形、売掛金及び契約資産が11,443百万円の減少となったことによるものであります。

負債は74,855百万円と前連結会計年度末に比べ3,665百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が2,500百万円の減少となったことによるものであります。

純資産は103,807百万円と前連結会計年度末に比べ2,639百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が2,507百万円の増加となったことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.8%と前連結会計年度末に比べ1.8ポイントの増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,010百万円減少し、四半期末残高は62,901百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,414百万円の資金の増加（前年同期は23,798百万円の資金の増加）となりました。これは主に、棚卸資産により4,278百万円の減少となったものの、売上債権により12,964百万円の増加となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,465百万円の資金の減少（前年同期は2,773百万円の資金の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が3,704百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,013百万円の資金の減少（前年同期は2,795百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額が1,918百万円となったことによるものであります。

当社グループは、運転資金をはじめ、将来の事業展開に備えた設備投資、研究開発にかかる資金について、自己資金、前受金のほか、金融機関からの借入金によることとしており、今後も事業活動に必要な資金の調達に困難が生じることはないと考えております。なお、複数の金融機関とコミットメントライン契約を締結し、流動性を補完しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

老朽化したごみ処理プラントの更新や延命化対策、エネルギー政策を背景としたバイオマス発電プラントの建設など当社グループの主要製品には引き続き需要が見込まれております。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の混迷や、鋼材をはじめとする資機材価格の上昇や納期の長期化など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループの2024年3月期の業績につきましては、受注高は170,000百万円、売上高は146,000百万円を見込んでおり、従前の予想から変更はありません。一方、損益面につきましては、受託しているごみ処理プラント(ガス化溶融炉)のO&Mにおいて設備の不具合が発生し、当第2四半期連結累計期間において復旧に向けた対策費用を計上した影響から、営業利益が10,300百万円、経常利益が11,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が7,700百万円といずれも従前の予想を下回る見通しです。

なお、上記の修正につきましては、本日(2023年11月8日)「2024年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」として開示しております。

当社グループでは、通常の事業形態として、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,242	67,253
受取手形、売掛金及び契約資産	60,851	49,408
棚卸資産	6,011	10,290
その他	2,159	4,195
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	134,249	131,132
固定資産		
有形固定資産	18,436	19,184
無形固定資産	540	584
投資その他の資産		
投資有価証券	18,280	22,130
その他	8,317	5,765
貸倒引当金	△135	△134
投資その他の資産合計	26,462	27,760
固定資産合計	45,439	47,530
資産合計	179,688	178,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,610	24,639
電子記録債務	14,749	15,736
短期借入金	220	220
未払法人税等	3,362	862
契約負債	11,059	12,609
賞与引当金	3,789	2,972
製品保証引当金	215	170
工事損失引当金	625	1,058
その他	6,208	4,602
流動負債合計	66,840	62,872
固定負債		
役員退職慰労引当金	266	242
退職給付に係る負債	10,980	11,316
その他	433	424
固定負債合計	11,680	11,982
負債合計	78,521	74,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,873	3,886
利益剰余金	82,045	82,054
自己株式	△3,916	△3,827
株主資本合計	95,370	95,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,227	7,734
繰延ヘッジ損益	48	32
為替換算調整勘定	91	125
退職給付に係る調整累計額	△138	△114
その他の包括利益累計額合計	5,229	7,778
非支配株主持分	567	548
純資産合計	101,167	103,807
負債純資産合計	179,688	178,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	65,834	65,916
売上原価	51,753	54,056
売上総利益	14,081	11,859
販売費及び一般管理費	8,415	9,135
営業利益	5,665	2,724
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	337	373
持分法による投資利益	37	30
その他	145	120
営業外収益合計	528	535
営業外費用		
支払利息	1	0
コミットメントフィー	14	14
固定資産処分損	13	6
その他	18	5
営業外費用合計	47	26
経常利益	6,146	3,233
特別利益		
投資有価証券売却益	28	55
特別利益合計	28	55
特別損失		
新工場建設関連費用	112	317
その他	-	63
特別損失合計	112	381
税金等調整前四半期純利益	6,063	2,907
法人税等	1,731	932
四半期純利益	4,331	1,975
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,296	1,927

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,331	1,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	2,507
繰延ヘッジ損益	83	△15
為替換算調整勘定	45	43
退職給付に係る調整額	37	23
その他の包括利益合計	327	2,558
四半期包括利益	4,658	4,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,612	4,475
非支配株主に係る四半期包括利益	46	58

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,063	2,907
減価償却費	434	852
投資有価証券売却損益 (△は益)	△28	△55
固定資産処分損益 (△は益)	13	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△595	△816
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△571	433
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	336	369
受取利息及び受取配当金	△346	△385
支払利息	1	0
持分法による投資損益 (△は益)	△37	△30
売上債権の増減額 (△は増加)	32,712	12,964
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,473	△4,278
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,193	△2,331
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,512	1,790
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	90	△2,030
その他	271	1,930
小計	22,163	11,326
利息及び配当金の受取額	396	435
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	1,239	△3,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,798	8,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	452	△3,001
有形固定資産の取得による支出	△2,999	△3,704
有形固定資産の売却による収入	98	0
無形固定資産の取得による支出	△50	△209
投資有価証券の取得による支出	△300	△343
投資有価証券の売却による収入	52	114
貸付金の回収による収入	12	12
その他	△38	△333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,773	△7,465

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40	-
自己株式の取得による支出	△1,252	△0
配当金の支払額	△1,453	△1,918
非支配株主への配当金の支払額	△32	△78
その他	△17	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,795	△2,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,274	△1,010
現金及び現金同等物の期首残高	41,244	63,911
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	343	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,863	62,901

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	54,225	587	7,450	3,571	65,834	—	65,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	153	24	16	1	195	△195	—
計	54,378	612	7,467	3,572	66,029	△195	65,834
セグメント利益又は損失(△)	6,476	△72	145	298	6,847	△1,181	5,665

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,181百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,272百万円及びその他の調整額90百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	52,061	973	8,413	4,468	65,916	—	65,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133	30	28	2	194	△194	—
計	52,194	1,003	8,441	4,471	66,110	△194	65,916
セグメント利益	3,096	32	404	414	3,946	△1,222	2,724

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,222百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,312百万円及びその他の調整額89百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 予想補足資料

(1) セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

セグメントの名称	2024年3月期(予想)		
	受注高	売上高	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	141,500	116,000	473,146
環境・エネルギー(海外)事業	3,000	2,000	7,028
民生熱エネルギー事業	18,000	18,000	5,940
設備・システム事業	8,000	10,500	9,144
計	170,500	146,500	495,260
調整額	△500	△500	△48
合計	170,000	146,000	495,211

(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想

(単位：百万円)

	2023年3月期(実績)	2024年3月期(予想)	増減
設備投資額	7,100	3,600	△3,500
減価償却費	1,136	1,900	763
研究開発費	1,150	2,000	849

4. 補足資料

環境・エネルギー(国内)事業の内訳

(単位:億円)

	2024年3月期第2四半期(実績)		
	受注高	売上高	受注残高
一般廃棄物処理プラント(EPC)	7	150	1,129
一般廃棄物処理プラント(アフターサービス)	229	171	2,387
エネルギープラント	224	148	834
水処理プラント・その他	109	50	174
調整額	1	1	0
計	571	521	4,526